

個 人 質 疑 質 問

改革無所属の会 塚 本 進 介 議員
(複合方式)

1 「音楽のまち・ひめじ推進事業」市民が主役の文化行政を目指して

本市の文化行政は重要な転換点を迎えている。今後も姫路の文化水準を維持・向上させるためには、多角的な検討が求められる。これらの観点から「音楽のまち・ひめじ推進事業」をはじめとする本市の文化行政の方向性についてたず。

- ・姫路の文化行政の転換点と「音楽のまち・ひめじ」の再考
- ・市主催（含む主導）事業の質の向上と、市民や団体との共創への転換
- ・文化政策の将来像と担い手育成
- ・市民会館閉館後の受皿機能と、市民会館の意義を見直す
- ・中間支援組織（姫路市文化国際交流財団）の機能強化
- ・料金（受益者負担）、補助制度、人材、場所、財源の総合的再設計

(市長、教育長、関係局長)

2 地域とともに育てる新しい学校モデルについて

小中学校の適正規模・適正配置の具体化が進む中で、「ふるさと教育」と「姫路らしさ」の継承を重視しつつ、市長部局と教育委員会の考え方や今後の進め方を市民と共有することが重要である。そこで、本市の教育環境が大きな転換点を迎える今、新たな学校モデルの構築に向けた見解をたず。

- ・姫路の教育環境が迎える転換点と「学びのまち」の再構築
- ・統廃合におけるプロセス設計の在り方
- ・一人一人に寄り添う支援体制の強化
- ・学校種別に応じた教育モデルの最適活用
- ・教育課程外の活動と地域共創の推進
- ・学校デジタル化の次のステージ（G I G Aスクール構想・教育DX）
- ・地域別の現状評価と今後のステップ
- ・統廃合「前」に学びを拡充する教育モデルの再設計

(市長、教育長、関係局長)